

長畝ふるさと通信

【2013年2月号】

■ 2月の農作業

2月の主な農作業は「種もみの温湯消毒」です。ことしもJA佐渡から作業受託して約180トンもの種もみを温湯消毒しました。

ここで「コシヒカリBL」についてあらためてお知らせしておきます。「コシヒカリBL」とは新潟県が従来のコシヒカリに「いもち病」に強い性質をプラスした改良品種で、現在新潟県で生産されているコシヒカリの90%は「コシヒカリBL」です。品種改良の目的は、



① いもち病予防の農薬の使用量を減らすことで、環境負荷を抑えることができる ② コシヒカリBLの種もみは新潟県の米生産者にしか流通させないので、世に流通する「ニセ新潟コシヒカリ」をDNA鑑定で証明できる などとされています。一方で厳密には病気に対する遺伝子が異なるので、本来のコシヒカリとは別物であるとも言われています。JA全農にいがたは「食味・品質・外観は従来のコシヒカリと全く同じで、いもち病に感染しにくい性質だけを加えたもの」と説明しています。皆さんから召し上がっていただいているお米も「コシヒカリBL」です。

■ トキも元気に越冬中



毎日寒い日が続きますが、野生のトキたちは元気です。朝早くからトキの鳴き声(はっきり申し上げて決して綺麗な鳴き声ではありませんけど・・・)がするので田んぼへ出かけてみると、田んぼに降りたって餌をついばんでいます。ボクのデジカメではこれが限界ですが、本物の羽色はとても美しいです。これから繁殖期を迎えます。今年もヒナ誕生に期待しています！